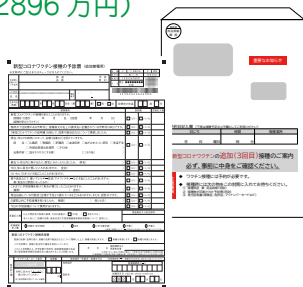


令和3年度に実施した主な事業

新型コロナウイルス感染症対策

○新型コロナウイルスワクチン接種事業 (2億2896万円)

新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため、ワクチン接種事業(相談窓口設置、接種券作成・送付などを含む)を実施



○新型コロナウイルスワクチン接種移動支援事業 (371万円)

新型コロナウイルスワクチンの接種を行った高齢者の帰宅時のタクシー利用の支援

文化財の保護と活用

○旧吹屋小学校保存修理事業 (1億7405万円)

平成27年度に着手した旧吹屋小学校の保存修理工事が令和3年度末で完了。令和4年4月21日から公開



定住・移住の促進

○子育て世帯賃貸住宅建設促進事業(300万円)

市内において世帯向け賃貸共同住宅を建設する民間事業者に対し、建設費の一部を助成

○結婚新生活応援事業 (108万円)

結婚に伴う新生活のスタートアップに係る費用について補助金を交付



防災対策の強化

○ハザードマップ作成事業 (748万円)

災害時での避難行動を迅速に進めるため、被害想定区域や避難場所などの災害関係施設の位置などを表示したハザードマップを作成



未来革新技術の活用

○議会 ICT 化事業(459万円)

議会の活性化や情報伝達の迅速化、ペーパーレス化の推進のため、議員への端末機配備とインターネット環境を整備

商工業の活性化

○キャッシュレス決済ポイント還元事業(1億2026万円)

市内での消費を活性化させるため、キャッシュレス決済事業者と連携し、市内でのキャッシュレス決済での支払いの25%分をポイントなどとして還元



地方債の残高

令和3年度末における普通会計(※1)の地方債(※2)残高は323億710万円、前年度に比べ約2億3242万円の減額となりました。市民1人当たりに換算すると約115万円になりますが、元金や利息の償還を国が交付税などで補てんしてくれる有利な市債を借り入れているため、実質的な負担は1人当たり約35万円程度になります。

基金の現在高

令和3年度末の基金(※3)現在高は普通会計で、82億6182万円となっています。

(※1) 普通会計

市の会計区分は一般会計のほか、特定の事業を行うための特別会計と公営企業会計に分かれています。このうち、一般会計と公営事業に属さない特別会計を合わせた会計のことを普通会計といいます。

普通会計に区分される特別会計

へき地診療所、養護老人ホーム、畑地かんがい事業

(※2) 地方債

地方公共団体が事業を行うに当たって資金調達のために行う債務(借金)のことで、市債ともいいます。

(※3) 基金

特定の目的のために資金を積み立てた財産(預金)のこと。